

# 平成29年度 第41回 全国高等学校ハンドボール選抜大会 母校ハンドボール部 全国選抜大会出場を応援して

関西支部 監事 須谷 修治



## 試合前の監督とのミーティング

本校からは、お忙しいところ（4月転任される）西田教頭先生、小松市ハンドボール協会の副会長さん2人が駆け付けられた。応援の主力は、選手の保護者でお父さん方とお母さん方、そして、私ども関西支部から黒田支部長、宮下会計（前支部長）と須谷監事の3名。

前半の立ち上がりには失点が続き1対5とリードされましたが、その後善戦して前半を10対12で終了、後半は一進一退で同点（14対14）にまで漕ぎ付けましたが、最終24対26で敗れました。

強豪の浦和学院を慌てさせる場面もありましたが、後半のタイムアップ直前に押し切れなかったことが敗因となった感がありました。

聞いて見ると、母校の選手構成は2年生が2名で後は全て1年生とのこと、つまり若い選手が殆ど、今回の経験を生かせれば来年の本大会が楽しみとのことでした。取敢えず、今夏のインターハイに期待するとのことでした。

なお、競技会場は、神戸での当番開催の3回が終わり、来年は(三重県)四日市になるそうです。中京支部の応援をお願いします。

応援について毎年思うことですが、相手校は鐘・太鼓を使っての組織的な応援が多く、浦和学院は大太鼓と笛と控え選手らが声を揃えての応援。当方は応援負けしてはならじと、メガホンを使って声をからしての応援でした。でも選手諸君は、私共の声援に良く応えて、頑張ってくれました。

本大会が、3月25日(日)に神戸市立中央体育館で開催され、1回戦で(関東地区代表/埼玉)浦和学院高校と対戦しました。母校チームは、石川県大会・北信越予選を勝ち抜き4年連続の出場、対戦チームは関東の強豪。

関西支部としては、27年大会以来毎年の応援で、ハンドボールのルールも少し分かり、応援の仕方の要領も少し分かった(?)と云うところです。

本校からは、お忙しいところ（4月転任



## 試合が終了して応援席へ挨拶

母校チームの健闘に声援を送ります。「頑張れ！頑張れ！小松工」・・・。

<以上>